

ラビット通信

発行 医療法人社団立靖会 ラビット歯科
〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-16-1 RG 八柱ビル3階
TEL (047) 711-7627 FAX (047) 711-7628
<http://www.rabbit-dc.net/> 介護事業所番号:1232434777



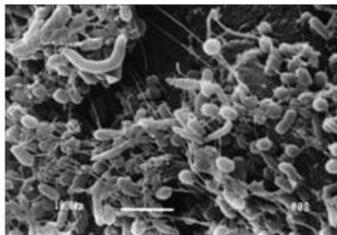
歯が原因?怖い病気!

歯が抜けたり、歯周病くらいで命にかかわるものではないと多くの人が思っているはずですが、しかし最近の様々な研究で、その常識が覆されてきています。今回は歯の問題が全身に引き起こす影響について特集します。

口腔内細菌が要因の病気

口腔内の虫歯菌や歯周病菌が血液の中に入ることで、メタボリックシンドロームや糖尿病、肝機能を悪化させ、心筋梗塞まで引き起こすことがあることがわかってきました。

実際に歯周病が進行していて、心筋梗塞を起こした患者の頸動脈から歯周病菌が見つかっています。日本人の死因の2位と4位は臓器そのものの疾患ではなく、血管に何らかの障害が生じたことで死亡していることを考えると無視できない関係があります。



【虫歯菌】

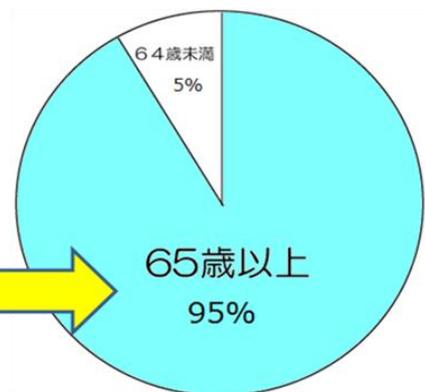


【歯周病菌】

現在、肺炎で死亡する人は、年間およそ9万5千人。うち**95%**が**65歳以上**の高齢者であり、そのほとんどが**誤嚥性肺炎**とされています。

日本人の死因

- 第1位 悪性新生物
- 第2位 心疾患
- 第3位 肺炎
- 第4位 脳血管疾患



死因の3位が肺炎!(その90%以上が高齢者の誤嚥性肺炎)

特に誤嚥性肺炎は、口腔内の細菌がいくつかの要因で肺に入り込むために起こる肺炎で、特に高齢者の死因においてはとても高いものになっています。予防として、いかに口腔内を清潔に保つかがとても重要になります。

歯を失うことが要因の病気

以前の通信(第43号)で特集しましたが、歯が抜ける一番の原因は歯周病です。そして歯が抜けたり、適切な入れ歯の使用が出来なくなると、噛み合わせが悪くなり、全身に様々な悪影響を及ぼしていきます。

①認知症:噛むという行為は、口の中だけのものではなく、消化・循環・呼吸・筋運動・内分泌など様々な器官に影響を与えています。もし噛み合わせが悪くしつかり噛めないとうなるのでしょうか。ある研究結果では歯の数が少ないほど、認知症が進んでいるという結果がでてしまいました。噛む事で直接脳の血流が増え、様々な脳の機能を活性化させることがわかってきたのです。

②体の痛みと不定愁訴:噛み合わせが悪くなると、体のバランスが崩れていき、首の痛み、肩の凝り、腰や膝の痛みなど全身に何らかの痛みを起こすことがあります。また踏ん張りが利かずに転倒することも。これらは抜けた歯や入れ歯を治療することで改善することがあります。さらにイライラや不安、頭痛や抑鬱といった不定愁訴についても噛み合わせを治すことで解消することがあります。

内科受診と同様に定期健診を!

このように、歯の問題は全身の健康にとつて絶対に無視できないことがお分かりいただけたと思います。まだ大丈夫と後回しにせず、**歯科受診を心がけましょう!**